

華頂短期大学幼児教育学科

1 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

幼児教育学科では、幼児教育・保育分野における専門性(知識・技術・価値観)を学び、保育現場で幼児教育・保育を担う人材、豊かな感性・人間性を有する社会人を育成することを目的とし、以下の能力を身に付け所定の卒業要件を満たした者に短期大学士(幼児教育学)の学位を授与する。

- (1) 知識・理解
 - ・子ども、子育てと家族・家庭、社会に関する知識を有している。
 - ・幼児教育・保育を実践するために必要な知識と技術を有している。
- (2) 汎用的技能
 - ・会話・文章を場面や目的に合わせて適切に使用することができる。
 - ・情報通信技術(ICT)を一定のモラルやルールに基づいて活用することができる。
 - ・自分自身の考えを明確な根拠を示して表明することができる。
 - ・課題を発見し、課題解決に向けて具体的に取り組むことができる。
 - ・多様な人々とコミュニケーションを図ることができる。
- (3) 態度・志向性
 - ・自己決定と自己責任に基づき、自立して行動することができる。
 - ・目標達成のために他者と協調・協働して行動することができる。
 - ・保育者として社会のルールや自己の良心、価値観に従って行動することができる。
 - ・幼児教育・保育に関する技能等を活かして社会に貢献する力を身に付けている。
 - ・卒業後も学び続けるため、自分自身で考え、行動する基盤を身に付けている。
- (4) 総合的な学習経験と創造的思考力
 - ・幼児教育、保育分野に関する総合的な学びを活用し、子ども、子育てに優しい社会の実現に向けて具体的に取り組む力を有している。

2 教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)

幼児教育学科では、学位授与の方針に掲げる目標を達成するために、全学科共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実技、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育内容、教育方法、学修成果の評価については次のように定める。

1. 教育課程・授業・学修方法の在り方

- (1) 知識・理解
 - ・子ども、子育てと家族・家庭、社会について理解する基盤科目、幼児教育・保育に関する基礎理論や技能習得の基礎について学ぶ科目を配置する。
- (2) 汎用的技能
 - ・幼児教育・保育に関する専門性を有する社会人として、社会で活躍するために必要となる基礎力(文章表現、ICTの活用、意思表示、課題解決、コミュニケーション等に関する能力)を育成する科目を配置する。
- (3) 態度・志向性
 - ・幼児教育・保育に関する専門性を深く学ぶこと、また実践的に学ぶことを通じて自立性や主体性を育み、他者と協働して社会に貢献することのできる力を育成する専門科目、キャリア関連科目を配置する。

- (4) 総合的な学習経験と創造的思考力
- ・幼児教育・保育に関する横断的・総合的な学修を体系的に活用し、自分自身の考えを整理・構築する総合科目、実際の現場で実践を通じて学ぶ実習関連科目を配置する。
2. 学修成果の評価方法
- ・講義、演習、実技、実習をとおして知識・理解を深め、学修の過程を含めた成果全体を把握し、総合的な実践力を筆記試験・レポート・口頭発表等により評価する。
 - ・GPAによる客観的な評価基準を適用する。

3 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

幼児教育学科では、次のような優れた人を求めています。

- (1) 知識・理解
- ・入学後の修学に必要な高等学校卒業相当の基礎学力(特に国語)を有している。
- (2) 思考・判断
- ・倫理観、コミュニケーション能力を高め主体性をもって学びたいと考えている。
- (3) 関心・意欲・態度
- ・学び続ける姿勢と広い視野を持つことができ幼児教育・保育に強い関心を持ち、その専門性を活かして社会に貢献しようという意欲を持っている。
- (4) 技能・表現
- ・豊かな感性と表現力やコミュニケーション能力とともに、協調性を高めたいと考えている。